



# 世界史 実力テスト

2020 年度第一回 3 年生

提出期限：2020 年 4 月 20 日 （在住国の 23：59 まで）

提出先：[tsuyoshikosaka@rikkyo.uk](mailto:tsuyoshikosaka@rikkyo.uk)

※上記提出期限を遵守のこと。提出期限を過ぎたものは提出を認めない。

※プリンターがない場合は、ノートに記入して、写真を撮影して送付すること。

※解答時間は 60 分。

※問題は 12 ページまで、解答用紙は 13・14 ページにある。

※解答用紙にははっきりと記入すること。

# 1 次の文を読み、下記の設問 A～C に答えよ。

紀元前 14 世紀、エジプト王アメンホテプ 4 世は (1) 従来の神々の崇拝を禁じ、唯一神アトンのみの崇拝を命じた。この改革は、新しい写実的な ( イ ) 美術を生み出したが、王の死によって途絶えた。当時、エジプトに居住していた一部のイスラエル (ヘブライ) 人は圧政に苦しめられたがその後脱出し、これを彼らの民族神 ( ロ ) による救済と信じた。彼らは後に王国を建設したが、前 6 世紀には (2) ユダ王国の滅亡 により政治的独立をいったん失った。こうした危機をイスラエル人は唯一神崇拝を強化することで乗り越え、やがて民族の精神的支柱となる神殿を再建して (3) ユダヤ教 を確立した。

一説によると同じころ、インドのガンジス川中・下流域で、シャカ族出身で仏陀や釈尊その他の尊称で呼ばれる ( ハ ) が活動していた。( ハ ) はすべては無常であり、正しい認識と実践によって苦しみに満ちた現世から解脱できるとし、万人の平等とすべての命への慈悲を唱えた。これが仏教の始まりである。当時のインドでは、アーリア人と先住民がまじわってゆく過程で生じた。「色」を意味する語 ( ニ ) に由来する身分制と、その最高位の身分である ( ホ ) 階級による複雑な祭式の独占が行われていたが、仏教はこうした先行宗教のあり方への批判を含んでいた。紀元前後には、民衆の救済を強調する菩薩信仰にもとづいて、従来の (4) もっぱら自らの悟りを追求する姿勢を変革してゆく運動 が行われた。7 世紀にヴァルダナ朝を創始したハルシャ王はヒンドゥー教徒であるにもかかわらず他宗教にも理解を示し、ベンガル地方に設立されたナーランダー僧院を庇護して、仏教研究を促進した。

1 世紀、ローマ帝国支配下のパレスチナの ( あ ) 地方出身のイエスによる活動は、当時のユダヤ教内部の改革運動のひとつであった。自民族内の病者や被差別者に対する神の無条件の愛を説いたイエスは、ローマの支配を受け入れる当時の王家や神殿祭司たちとも、また (5) ユダヤ教の宗教規則 の実践を重んじるパリサイ派とも対立し、最後は (6) ローマ総督に引き渡されて処刑された。しかしイエスが復活したという信仰にもとづいてキリスト教が生まれ、ペトロ (ペテロ) と並んで、( ヘ ) によってローマ帝国各地の異邦人に対して布教がなされた。( ヘ ) は「異邦人への使徒」を自称し、後にその多数の書簡は『新約聖書』に収められた。

アラビア半島のメッカに生まれたムハンマドは、7 世紀初め唯一神 ( ト ) の啓示を受けて (7) イスラーム教を開いた。彼は大商人による富の独占を批判したために迫害されたが、のちにメッカを無血征服したさいに ( チ ) 神殿から多神教を排除し、これを聖殿とした。ムハンマドに対する神の啓示は聖典『コーラン』にまとめられ、ハディースに伝わるムハンマドの言行である ( リ ) と並んで、イスラーム法学の基礎になった。また 9 世紀、( い ) 朝時代に設立されと言われる「知恵の館」(バイト=アルヒクマ) では、(8) ギリシア語の哲学や科学の文献が数多くアラビア語に翻訳された。これがラテン語への翻訳を介して西欧にもたらされ、12 世紀にスペインのトレドをひとつの中心として生じた (9) 「12 世紀ルネサンス」 として花ひらいた。

ローマ教皇を最高指導者として戴くカトリック教会の権威は、14 世紀には、教皇がフランス王の監視下に置かれるなどして弱体化した。この時期にイギリスではワット=タイラーの乱の思想的指導者が、「アダムが耕しイヴが紡いだとき、誰が領主であったか」と聖書の物語を用いて (10) 農奴制の廃止 を主張した。そのイギリスではウィクリフがラテン語の聖書を英語に翻訳し、またベーメンではフスによるチェコ語訳が出版された。16 世紀前半に至ると、ルターがギリシア語原典にもとづいて『新約聖書』のドイツ語訳を出版し、それを参考にティンダルが出版した英訳聖書がイギリスの (11) 宗教改革 を加速させた。一方カトリック教会も 1545 年からトリエント公会議を開いて対抗宗教改革を行い、その旗手となった (12) イエズス会 (ジェズイット教団) は宣教師をインドその他のアジア諸国に派遣した。また、当時のインドでは、(13) ヒンドゥー教とイスラーム教の融合をはかる運動 も見られた。

A. 文中の空所 ( イ ) ～ ( リ ) それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所く ( あ )・く ( い ) にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1 つずつ選

び、記号で答えよ。

〈 あ 〉 a. ガザ      b. ガリラヤ      c. シリア      d. フェニキア

〈 い 〉 a. アイユーブ      b. アッバース      c. セルジューク      d. ファーティマ

C. 文中の下線部 (1) ～ (13) にそれぞれ対応する次の間 1～13 に答えよ。

1. アメンホテプ 4 世によって崇拝を禁じられた神々のうち、古都テーベの神官団が奉じた神はどれか。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. アモン      b. ヴィシュヌ      c. マルドゥク      d. ラメセス
2. ユダ王国を滅ぼした新バビロニアが、ユダヤ住民を強制移住させた事件は何と呼ばれるか。その名をしるせ。
3. 後にキリスト教聖典の第 1 部として採用されたユダヤ教聖典は、キリスト教聖典では何と呼ばれるか。その名をしるせ。
4. 広く大衆を救済することを重視し、のちに中央アジアや東アジアに広がったこの部派仏教は何と呼ばれるか。その名をしるせ。
5. いわゆるモーセ五書の名称ともなった、ユダヤ教おで神から授けられたとされる宗教規範は何と呼ばれるか。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. ダルマ      b. 八正道      c. 律法      d. 六信五行
6. ローマ帝国はイタリア半島以外の征服地を区分してそれぞれに 1 人の総督を派遣して間接的に統治し、徴税によって富を吸い上げる制度を作った。このような征服地を総称して何と呼ぶか。その名をしるせ。
7. この宗教に関する次の間に答えよ。
  - i. 中国に入った西方起源の諸宗教のうち、イスラーム教を指すのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. 回教      b. 景教      c. 祆教      d. 明教
  - ii. イスラーム教の礼拝施設はモスクと呼ばれ、現存する最古のモスクであるウマイヤ=モスクは、8 世紀初め、かつてのキリスト教会の一部を転用することで建築された。このウマイヤ=モスクが置かれた都市の名をしるせ。
8. こうした文献の中でも、自然・人文社会のあらゆる分野について論じ、「万学の祖」と呼ばれたギリシア人哲学者の著作と注解が、優先的に翻訳された。この哲学者は誰か。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. アリストテレス      b. アルキメデス      c. ソクラテス      d. デモクリトス
9. この流れを受けて、イスラーム科学の影響の下で、13 世紀に「実験科学」を提唱したイギリスの自然科学者・スコラ学者は誰か。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. アンセルムス      b. ウィリアム=オブ=オッカム      c. ロジャー=ベーコン      d. トマス=アキナス
10. この背景には貨幣経済の普及があり、自ら土地を所有して経営する農民がとりわけイギリスで増加した。そのような農民は何と呼ばれるか。その名をしるせ。
11. 宗教改革はヨーロッパの各地で展開され、そこから後のプロテスタント諸派が生まれた。フランスの人文主義者で、スイスのジュネーブを中心に「予定説」を提唱し、後に「長老派」と呼ばれる教派を形成するに至った宗教改革者は誰か。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. カルヴァン      b. ツヴィングリ      c. ノックス      d. ペーテルソン兄弟
12. ポルトガルはインド沿岸部から東南アジアを経て中国南岸部へと次々にアジア貿易の拠点を拡大していった。その貿易ルートを利用して、1549 年に日本奇に初めてキリスト教を伝えたスペイン出身のイエズス会宣教師の名をしるせ。
13. イスラーム教の影響下でヒンドゥー教を改革し、シク教の開祖となった人物の名をしるせ。

## 2 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。

ユーラシア大陸東部で 10 世紀までに生まれた王朝の都は、黄河文明の中心地であった中原と渭水盆地を中心とする(1) 黄河中流域に集中している。この一帯はユーラシア大陸中央部の高原地帯や砂漠草原地帯、オアシス地帯、南の長江流域とつながる陸路や水路の集まるところで、交通の要所だった。現在確認されている最古の王朝である殷の遺跡とされる殷墟は、黄河の北方、太行山脈の東麓に位置する。西方の遊牧民であった周は関中に定住して殷の支配下にはいり、のちに殷を滅ぼして王朝を建てた。この王朝交替は、(2) 「天子は、天命により天下を治める」ため、天子が悪政を行えば、天命は別の有徳者に移るという考え方で説明され、交替の形式には「放伐」と「禪譲」がある。紀元前 8 世紀、周は西北の遊牧民に都の(イ)を攻略され、中原に遷都した。以降、(3) 多数の国の分裂と抗争が続き、新たな社会秩序を求めて多様な思想が生まれた。自己(「華」・中国)の文明を中心とし、他者(夷狄)の文明を劣っているとする華夷思想もこの時代に育まれた。

前 221 年、最初の統一王朝である秦が誕生し、「華」は王朝の支配地域全体を指すようになった。秦の滅亡後、次の統一王朝となったのは漢で、都を関中の長安に置いた。秦漢は、以降の(4) 中国王朝の支配統治体制の基本形となり、多くの民族を融合して、漢語を用い、(5) 漢文化を継承する漢民族が形成された。漢代には支配領域が拡大して、「華」は華北平原を指し、そこに住む漢文化を共有する人々が「華」人となり、「夷」は周辺諸民族を指すようになった。

一方、ユーラシア大陸北部中央部には、遊牧民や狩猟民、オアシス民の世界があった。前 3 世紀末、匈奴がオアシス地帯を勢力下におさめ漢を圧迫した。(6) 漢の武帝は匈奴の勢力を退け、南は(ロ)を滅ぼして南海 9 郡を置き、東は(ハ)を滅ぼして楽浪など 4 郡を置き、西はタリム盆地の(7) オアシス諸都市にも支配を拡げた。「華」と「夷」は交易によって結ばれ、漢が滅亡すると人口が激減した漢民族地域に、北方の遊牧民族がこの交易の道を利用して移住した。次の(8) 三国時代には、晋によって華北が統されたがすぐ内乱が起き、(9) 「五胡」と総称される諸遊牧民族が蜂起した。これにより華北の漢人は、長江中下流域の江南に移住して江南地帯の人口が増え、この地帯の開発が進んだ。その過程で華北・江南を舞台に多くの政権が生まれた。都を長安に置いた隋は南北の分裂を統一し、華北と江南を結ぶ大運河を建設した。次の(10) 唐も都を長安に置いた。隋と唐は「夷」である鮮卑系とされる王朝であるが、漢文化を共有することで「華」化し、交通の要所に都を置くことで交易網を拡げた。

10 世紀初めに唐が滅亡すると、「華」は再び分裂状態となり、北方民族が「華」を圧迫した。(11) 宋を建てた趙匡胤は、都を大運河と黄河の交点にある都市に置き、2 代太宗は主要部を統一した。後に大運河の南端の都市に遷都するが、いずれも農産物の生産量が向上して経済的に重要な地域となった江南と、華北とを結ぶ流通の要所である。

一方、北方ではモンゴル系の契丹が支配領域を拡げ、(ニ)の建国を援助した代償に河北・山西の北部を獲得した。契丹は国号を遼とし、モンゴル高原東部に都を置きながら宋を脅かして(12) 和議を結んだ。遼は「華」である華北の一部も支配した最初の「夷」の王朝である。遼を追い払って華北を占領した女真(女直)の金も本拠地は中国東北部だが、華北支配のために燕京に都を置いた。13 世紀になると、ユーラシア大陸全域に及ぶことになる(ホ)が建てられた。その東部が元で、「華」は「夷」の国の一部となった。

14 世紀に自然災害や内紛によって(ホ)が解体すると、江南を拠点とする漢民族の明が都を金陵に置くが、後に北方民族の勢力に対抗するため、北京に遷都した。明は海禁策と(13) 朝貢貿易で貿易を統制し、積極的な対外政策によって朝貢国の地理的範囲を拡大した。しかし 15 世紀半ばには、圧迫するモンゴル系のオイラト(瓦剌)を制圧しようと(14) 出兵して敗北し、16 世紀にはヨーロッパ人によるアジア進出が本格化し、貿易統制は困難になって朝貢国に対する明の権威は弱まった。交易によって広がった世界の中では、もはや明を頂点とする華夷思想に基づいた天下は、維持できなかったのである。

16 世紀末、東北部では女真部族が明に対抗し、後に国号を清と改め、明を滅ぼし、都を(ヘ)から

(15) 北京に遷都した。「華」の地の支配領域を拡大した清の皇帝は、「華」の天子と「夷」の君主を兼ね、その行政区域は、本拠地である中国東北部と漢民族地域の省を直轄領とし、非漢民族地域は(16) 藩部としていた。藩部では各々の伝統的な社会・文化の維持と自治が認められ、各々の首長を通じて間接統治が行われた。清がロシアとの間で国境を定めた( ト ) 条約は、歴代王朝で初めて外国と対等な形式により、天下ではなく国家の領土を画定した条約だったが、清はロシアとの外交を、藩部を統括する中央機関に担当させた。華夷思想とそれに基づく天子・天下の観念は、「華」と「夷」が具体的に示すものを変えながら、継承されたのである。

- A. 文中の空所( イ ) ～ ( ト ) それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。
- B. 文中の下線部(1) ～ (16) にそれぞれ対応する次の問 1～16 に答えよ。
- 次の王朝のうち、黄河中流域に都をおいた王朝はどれか。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. 韓    b. 齊    c. 楚    d. 趙
  - この考え方は何と呼ばれるか。その名をしるせ。
  - この時代の前半を春秋時代、後半を戦国時代と呼ぶ。春秋時代、戦国時代に関する次の問に答えよ。
    - 春秋時代、周王の権威のもとに列国の主導権を握った有力諸侯は何と呼ばれたか。その名をしる
    - 春秋・戦国時代には多彩な思想が生まれた。春秋時代末期を生き、無差別の愛を唱えた思想家は誰か。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. 荀子    b. 莊子    c. 墨子    d. 孟子
    - 戦国時代、前 4 世紀の秦に仕え、法家思想に基づいた改革によって秦の強国化に貢献した人物の名をしるせ。
  - この基本形の 1 つが、皇帝が官僚を用いて直接統治をする官僚制である。漢で中央官僚への登用制度の名とその内容、社会への影響を説明せよ。
  - この文化において重要な思想である儒学の経典を解釈し教授する「五経博士」の設置を建言した儒学者の名をしるせ。
  - この皇帝の治世下で行われたのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. 郡県制と封建制を併用する郡国制が始められた  
b. 呉楚七国の乱が鎮圧され、中央集権体制が確立された  
c. 蔡倫によって改良された製紙法による紙が献上された  
d. 中国で最初となる年号「建元」が制定された
  - オアシス地帯支配の拠点として設けた河西 4 郡のうち、のちに千仏洞と呼ばれる石窟寺院が造営された場所はどこか。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. 亀茲    b. 敦煌    c. 酒泉    d. 武威
  - この三国の英雄の活躍を描いた歴史物語を元末明初に編纂したとされる人物の名をしるせ。
  - この五胡とは匈奴・鮮卑・羯・氏・羌を指すとされる。このうちの匈奴が中心になって建てた政権はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。  
a. 漢    b. 西涼    c. 前秦    d. 北魏
  - この王朝では、外国からきた留学生を高官に登用することもあった。玄宗の統治期に日本から遣唐使として唐に赴き、唐の官僚に登用され、李白や杜甫とも親交のあった人物の名をしるせ。
  - この時期の農業に関する記述として正しくないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。  
a. 湿地を堤防で囲み、干拓して田にする技術が生まれた  
b. 『斉民要術』は、この時代の農業の最新技術書である  
c. 「蘇湖（江甯）熟すれば天下足る」と言われた

d. ひでりに強い早稲種の占城稻が導入された

12. この和議の名をしるせ。

13. 朝貢国に正式な通交の証である割符を発行し、それをもつ船とのみ貿易を行う制度を初めてしいた皇帝は誰か。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。

a. 永楽帝      b. 建文帝      c. 洪武帝      d. 宣徳帝

14. これにより捕虜となって、後に解放された明の第 6 代皇帝の名をしるせ。

15. 北京に遷都した皇帝の名をしるせ。

16. 清の藩部でない地域はどれか。次の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。。

a. 雲南      b. 青海      c. チベット      d. モンゴル



3. イスラーム世界の歴史に関する下記の設問に答えなさい。

(1) 預言者ムハンマドに関するつぎの二つの文について正誤を判断し、a と b の両方が正しければ①を、a が正しく b が誤っていれば②を、a が誤っており b が正しければ③を、a と b の両方が誤っていれば④を選べ。

- a. メッカのクライシュ族の出身であった。
- b. 第4代正統カリフのアリーはムハンマドの娘婿であった。

(2) ムスリムの義務である五行に含まれないものを選びなさい。すべて含まれる場合は④を選べ。

- ①メッカへの巡礼      ②イスラーム暦9月の断食      ③ジハードへの参加 1日5回の礼拝

(3) ウマイヤ朝に関する記述として正しいものを選べ。

- ①アブー=バクルによってたてられた。
- ②イェルサレムを首都とした。
- ③ ニハーヴァンドの戦いで勝利した。
- ④トゥール ポワティエ間の戦いでやぶれた。

(4) ハールーン=アッラシードに関する記述として誤っているものを選べ。すべて正しい場合は⑤を選べ。

- ①アッバース朝の第5代カリフであった。
- ②西ゴート王国を滅ぼした。
- ③死後、二人の息子がカリフの位をめぐって争った。
- ④『千夜一夜物語』に登場する。

(5) アッバース朝に関する記述として誤っているものを選べすべて正しい場合は⑤を選べ。

- ①預言者ムハンマドの叔父の子孫によってたてられた。
- ②タラス河畔で唐軍と戦った。
- ③ティグリス河畔に首都バグダードを建設した。
- ④すべてのムスリムに人頭税が課されるようになった。

(6) イベリア半島のイスラーム王朝に関する記述として誤っているものを選べ。すべて正しい場合は⑤を選べ。

- ①後ウマイヤ朝はコルドバを首都とした。
- ②後ウマイヤ朝で10世紀にアブド=アッラフマーン3世が即位した。
- ③のナスル朝はアルハンブラ宮殿を建設した。
- ④ナスル朝は15世紀にポルトガル王国によって滅ぼされた。

(7) ファーティマ朝に関する以下の記述の下線部のうち、誤っているものを選べ。すべて正しい場合は④を選べ。

ファーティマ朝は10世紀初めに①チュニジアでおこったのシーア派の王朝で、10世紀後半にはエジプトを征服して首都②カイロを建設した。この王朝の君主はアッバース朝の権威に挑戦して、みずからを③大アミールと称した。

(8) つぎの文の空欄に入る語を選びなさい。

アイユーブ朝は( )のサラーフ=アッディーンによってたてられた。

- ①トルコ人      ②ペルシア人      ③クルド人      ④ベルベル人

(9) つぎの文の空欄 a、b に入る語の組合せとして正しいものを選びなさい。

アイユーブ朝やマムルーク朝の時代には、イエメンの( a )でインド商人から香辛料を買いつけ、それを紅海、ナイル川経由でアレクサンドリアまで運んでイタリア商人に売りわたす( b )が活躍した。

- ① a. アデン b. ソグド商人      ② a. ゴア b. ソグド商人
- ③ a. アデン b. カーリミー商人      ④ a. ゴア b. カーリミー商人





4. 東南アジアの貿易について述べた以下の文章を読み、下線部 (1) ~ (10) に関する問いについて、a~d の選択肢の中から答えを 1 つ選べ。また波線部 A~C に関する問いの答えを記入せよ。

明の (1) 永楽帝は A 各地に兵を送ってジャワ・マラッカ・インド洋沿岸の各地に明の勢力を誇示し、この地域で明を中心とする朝貢貿易が活発に行われた。マレー半島南西部に成立した (2) マラッカ王国は明の支援を受けて、東西貿易の中継地として急速に発展した。ベトナムは永楽帝の軍に一時占領されたが、(3) 黎朝は独立を回復し明と朝貢関係を結んだ。(4) 琉球王国も明の冊封をうけて朝貢貿易に加わり、東シナ海と南シナ海を結ぶ中継貿易を行って栄えた。

16 世紀に入り、東南アジアへのヨーロッパの進出がはじまった。1511 年、(5) ポルトガルがマラッカ王国を占領したため、ムスリム商人は拠点を移動させ、(6) スマトラ島、ジャワ島の各地にイスラム国家が台頭した。16 世紀後半にスペインの (7) フェリペ 2 世がフィリピンを侵略して建設した B マニラは、中国をはじめとする南シナ海諸地域とアメリカ大陸との間の中継拠点となった。

17 世紀に入ると (8) オランダはジャワ島を根拠地としてポルトガル商人を排除しつつ香辛料貿易の実権を握った。さらに C イギリスを排除して、(9) オランダ領東インド支配の基礎を築いた。一方、1600 年に東インド会社を設立した (10) イギリスはインド経営に力を注ぎ、3 回の英蘭戦争を通じて 17 世紀末には世界貿易の覇者となった。

(1) 永楽帝が即位した際の内乱を何というか。

- a. 靖康の変      b. 靖難の役      c. 土木の変      d. 戊戌の政変

(2) 15 世紀にマラッカ王国と対立した国はどれか。

- a. アユタヤ朝      b. シャイレンドラ朝      c. スコータイ朝      d. タウンギー朝

(3) 黎朝について、誤っている説明はどれか。

- a. 黒旗軍によって清に抵抗した。      b. 朱子学を振興した。  
c. 阮氏と鄭氏の政権によって二分された。      d. 明の統治制度をとりいれた。

(4) 15 世紀初め、琉球を統一した人物は誰か。

- a. 阮福暎      b. 尚巴志      c. 趙陀      d. 劉永福

(5) ポルトガルについての以下のことがらを、古い方から時代順に並べた場合に、3 番目に来るものはどれか。

- a. インドのゴアを占領      b. ポルトガル人が種子島に漂着  
c. マカオに居住権を獲得      d. マゼランが世界一周の旅に出発

(6) この時期スマトラ島に台頭した国はどれか。

- a. アチェ王国      b. シュリーヴィジャヤ王国  
c. チャンパー王国      d. マイソール王国

(7) フェリペ 2 世と在位期間が全く重ならない君主は誰か。

- a. エリザベス 1 世      b. アクバル 1 世      c. イヴァン 3 世      d. スレイマン 1 世

(8) オランダについて、誤っている説明はどれか。

- a. スペインの弾圧を受けた新教徒は南アフリカに入植した。  
b. 現在のジャカルタにあたるバタヴィアを東インド交易の根拠地とした。  
c. マンハッタン島にニューアムステルダムを建設した。  
d. 探検家タスマンはハワイで先住民に殺された。

(9) オランダ領東インドで行われた経済政策はどれか。

- a. エンコミエンダ制    b. 強制裁培制度    c. ザミンダーリー制    d. ライヤットワーリー制

(10) 17 世紀半ば、イギリスが商業上の拠点としなかった町はどれか。

- a. カルカッタ    b. シャンデルナゴル    c. ボンベイ    d. マドラス

設問 A. 永楽帝の命令で南海遠征を行った宦官の名を記せ。

設問 B. マニラと太平洋航路で結ばれていたメキシコ南部の港市の名を記せ。

設問 C. イギリスがインドネシアから撤退する契機となった 1623 年の事件の名を記せ。

5. 16–18 世紀における銀を中心とする世界経済の一体化の流れを概観せよ。解答は 16 世紀、17 世紀、18 世紀の順にまとめて記入すること。下記の 8 つの用語を必ず 1 回は使用すること。

グーツヘルシャフト    一条鞭法    価格革命    綿織物    日本銀    東インド会社  
ポトシ    アントウェルペン

1	A イ	ロ	ハ	ニ
	ホ	ヘ	ト	チ
	リ	B あ	い	C 1
3	4	5	6	2
7 i	ii	8	9	10
11	12	13		

2	A イ	ロ	ハ	ニ
	ホ	ヘ	ト	B 1
2	3 i	ii	iii	
4				
5	6	7	8	9
10	11	12	13	
14	15	16		

3	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	(7)	(8)	(9)			

4	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	(7)	(8)	(9)	(10)		
	A		B		C	

5						
---	--	--	--	--	--	--

